

技術フォーラム ニュース

シンポジウム：[テーマ] 野外における危険な生物(生態と対応)

日時:平成 26 年 8 月 30 日(土)10:00~11:55

場所:港区新橋生涯学習センター 303 号室

講師:佐々木 隆馬 氏

(公財)埼玉県生態系保護協会 主任研究員

埼玉県自然学習センター・北本自然観察公園

自然学習指導員

(専門分野)爬虫類・両生類の行動生態学、環境教育

司会:野本 優人 技術士

講演内容の取り纏め:橋本 孜(会員)

技術フォーラム理事長 原田敬美 工博 技術士

本シンポジウム(勉強会)は3か月に1回行っています。本日の講演は当NPOが主として監査の対象分野としている建設、環境、情報のうちの一つ、「環境」に関する勉強会です。人間が自然環境を破壊していることが昨今の新聞で話題になっていますが、子供たちを大いに外に出して、自然との触れ合いをと思っています。

※はじめに

自然観察やハイキングなど、野外活動はとても楽しいものですが、さまざまなリスクも伴います。特に、毒蛇やハチの場合、正しい知識・対処法を知らなければ命に係わる事故にも繋がりがかねません。一方で、これらの生き物も自然のバランスを保つ大切な役割を持っていますし、私たち人間の暮らしに役立っている場合も有ります。野外における危険な生き物から身を守る方法と、彼らを「悪者」にしてしまわないための知識に関する講演内容です。

・事故が起こるのは

事故の発生=不安全な状態×不安全な行為

不安全な状態(外的要因)

・環境によるもの:気象の不良、場の不良

・物によるもの:施設、道具、服装の不備

不安全な行為(人的要因)

・人によるもの:知識がなかった、技術が未熟だった、するべき行動をしなかった、「知らない」「やれない」「やらない」



・安全対策の手順

- ①危険を予知する
- ②危険に対する回避策を立てる
- ③回避策を確実に実行する
- ④回避策、実行の結果について評価する
- ⑤評価を次に活かす

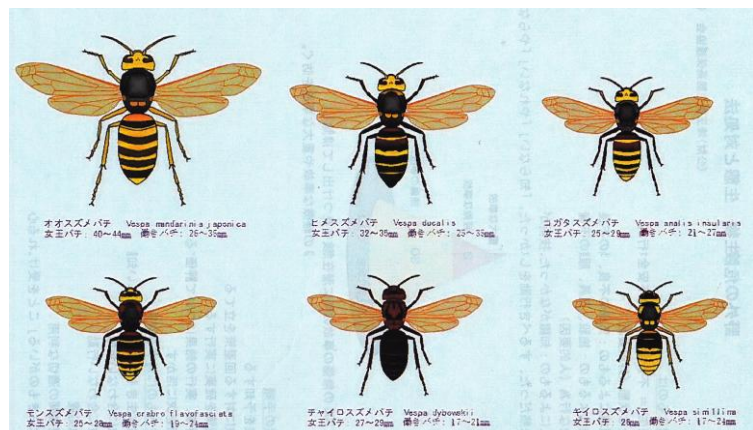
・危険な生き物に対する対策

- ①危険な生きものに対する正しい知識
- ②事故に合わない装備
- ③事故に合わない行動
- ④応急処置
- ⑤医療機関の適切な利用

1. ハチ

(日本産大型スズメバチ類6種大きさの比較)

(注)



(上段左:オオスズメバチ、女王バチ 40~44cm、働きバチ 26~35cm、中:ヒメスズメバチ、女王バチ 32~35cm、働きバチ 25~35cm、右:コガタスズメバチ、女王バチ 25~29cm、働きバチ 21~27cm、下段左:モンスズメバチ、女王バチ 25~28cm、働きバチ 15~24cm、中:チャイロスズメバチ、女王バチ 27~29cm、働きバチ 17~21cm、右:キイロスズメバチ:女王バチ 25cm、働きバチ 17~24cm)

アナフィラキシー ショック

急性で重篤なアレルギー症状。どんな生きもの毒で発症するかわからない。受傷後数分で発症することが多い。→受傷後、1~2時間は様子を見る。

- ・発熱
- ・呼吸困難
- ・意識障害
- ・全身の腫れなど

が見られた場合には早急に医療機関へ

2. ヘビ

関東地方に住むヘビは8種類いる。

- ①シマヘビ②アオダイショウ③ヒバカリ④ジムグリ⑤ヤマカガシ⑥シロスダラ⑦タカチホ⑧ニホンマムシ

ヤマカガシとニホンマムシは毒を持っている。

- ・ヤマカガシは噛まれた時は変化は無いが後で異常が出る。
- ・マムシは噛まれた所が腫れる。
- ・ヤマカガシは、食べたヒキガエルの毒を頸腺毒として利用している。
- ・毒蛇咬傷の症状

ニホンマムシ



ヤマカガシ



3. カエルの仲間 (カエル、オタマジャクシ、サンショウウオ、イモリ)



アズマヒキガエル



ニホンアマガエル

強い皮膚毒を持つ。触るのは問題ないが、毒が目に入るとひどい炎症を起こす。また、幼児が口に入れてしまうと非常に危険



アカハライモリ

4. 毛虫と蛾

「ある」は毒があるの、「ない」は毒のない意味。



タケカレハ幼虫



スギドクガ幼虫



オオケンモン幼虫



ドクガ幼虫



モンシロドクガ幼虫



マメドクガ幼虫

5. その他の虫

- ・最も普通に見られる“ヤブカ”はヒスジシマカ
- ・ヤスデ、ゲジゲジは無毒。
- ・マダニは吸血性のダニで、知らない間に衣服に付いている(丹沢山系に多い)。
- ・ダニが付いたら自分で取り除かないで直ぐに病院で処置すること。

安全対策

- ・服装

服装

- ① 長袖
- ② 長ズボン
- ③ 帽子
- ④ 靴



長靴はフィールドワークの必需品。

ヘビに咬まれても牙が通りにくい。



- ・危険な場所(シカ、イノシシが多いところ)
- ・応急処置に使えるもの(ポイズンリムーバー他)

※終わりに

- ・ハチに刺されない為には、
 - ① 巣に絶対に近付かない、刺激しない。
 - ② ハチは前後の動きにはあまり反応しないが、左右の動きには敏感。
 - ③ 肌の露出部分を少なくする。
 - ④ 黒いものは身に着けない。
 - ⑤ 香料の入った化粧品、香水などは使わない。
 - ⑥ 1匹のハチの場合はじっとしている。多数のハチの場合はそっと逃げる。
- ・東京都では生息する爬虫類、両生類の全種が絶滅する危険があります。
- ・私たちの暮らしを支える生態系サービス、それは即ち「自然の恵み」で人間は生きています。これからの子供たちには家の中でゲームにはまりこまないように、自然と共生する大切さを知って貰いたいと思います。

技術フォーラム 活動報告

1) 監査、研修講師派遣等実績

業務実績のある自治体等							
昭島市、 板橋区、 鹿沼市、 狛江市、 杉並区、 館林市、 日光市、 東村山市、 目黒区、 二十三区清掃一部事務組合、	あきる野市、 磐田市、 川越市、 寒河江市、 逗子市、 調布市、 練馬区、 日野市、 守谷市、	旭川市、 牛久市、 清瀬市、 三条市、 裾野市、 所沢市、 野田市、 藤沢市、 八千代市、	足利市、 江戸川区、 桐生市、 相模原市、 墨田区、 栃木市、 函館市、 前橋市、 山形市、	厚木市、 大田区、 国立市、 寒川町、 草加市、 富里市、 秦野市、 町田市、 和光市、	足立区、 太田市、 小金井市、 上越市、 袖ヶ浦市、 長岡市、 八戸市、 三鷹市、 大和市、	荒川区、 青梅市、 国分寺市、 常総市、 高崎市、 新座市、 八王子市、 水戸市、	伊勢崎市、 鎌倉市、 小平市、 渋谷区、 立川市、 西東京市、 東根市、 武蔵野市、
東京都市町村職員研修所、				秦野市・伊勢原市環境衛生事務組合			
技術監査・工事技術調査等の実績分野							
建築工事(設計、建築、電気、機械、空調)							
土木工事(道路、橋梁、河川、立体道路、駐車場、公園、競技場、漁港、防波堤、電線類地中化)							
上下水道(上水道、下水道、管渠、調整池)							
環境(清掃工場)							
情報(清掃組合の情報システム)							
業務監査(工事契約手続き、不正発注実態調査)							
情報(システム監査研修講師派遣)							
監査委員研修(東京都市町村研修所、茨城県内自治体、静岡県内自治体、新潟県内自治体、全国都道府県)							
技術職員研修(町田市、八王子市、立川市、東京都市町村研修所)							

2) 当会会員による関連雑誌記事、新聞記事、書籍等

1	「事業の無駄を斬る！技術専門家の目・総論編、建設編、環境編、情報編」 原田敬美、根本泉、高堂彰二、田吹隆明 月刊「地方自治職員研修」 2006年1月号～4月号まで連載、公職研
2	「談合の根絶 外部監査で公正性確保」 原田敬美 読売新聞「論点」 2006年3月2日
3	「私の官民協働のまちづくりー東京港区長奮闘記」 原田敬美 学芸出版社 2006.9.10 発行 ISBN4-7615-1217-2
4	「技術には専門の監査が必要だ！」 NPO 地域と行政に支える技術フォーラム [編著] R&B ブックス 日刊工業新聞社 2009.7.15 発行
5	『重要性高まる技術内容の「監査」技術士の視点での設計・積算・施工の問題点をチェック』 日経コンストラクション 2009.11.27 号 66 ページから
6	「新潟県都市監査委員会定期総会での講演(タイトル:技術の専門区長から見た監査活動への期待)」 原田敬美 上越タイムス 2013年5月22日
7	「経営に役立つシステム監査ー事業リスク分析評価～改善提言」 小佐野市男 日刊工業新聞「課題に挑む技術士のソリューション」 2013年6月11日

3) 当会主催のシンポジウム抜粋

1～23	当会ホームページをご覧ください。(http://www.efscs.jp/)
25	「民間開発郊外住宅地について ～多摩田園都市を事例として～」 2013年8月31日(土) 港区立新橋生涯学習センター
26	「合意形成のプロセスデザイン」 2013年11月30日(土) 港区立新橋生涯学習センター
27	「ゴッホの部屋の日々」 2014年2月23日(土) 港区立新橋生涯学習センター
28	「最近における港湾及び海運の話題」 2014年5月31日(土) 港区立新橋生涯学習センター
29	「野外における危険な生物」 2014年8月30日(土) 港区立新橋生涯学習センター

技術フォーラム 活動予定

1) 監査、研修講師派遣等予定(抜粋) (H26.10月31日現在)

	対象機関	分野	年月
1	某1区、某1市	工事技術調査(土木)	平成26年11月
2	某1市2件、某4市、某区2件、	工事技術調査(建築)	平成26年11月
3	某1市	管理職研修	平成26年11月
4	某1区、某1市、某1組合	工事技術調査(建築)	平成26年12月
5	某1市	工事技術調査(土木)	平成26年12月
6	某2市	工事技術調査(土木)	平成27年1月
7	某1市	工事技術調査(建築)	平成27年2月
8	某区	工事技術調査(土木)	平成27年2月

2) シンポジウム予定

今回のシンポジウムを以下にて開催します。

テーマ: 中心市街地のまちづくり

「アオーレ長岡」を核に

講師: 菘沢 由明 氏

長岡市中心市街地整備室

まちなか整備担当課長

日時: 平成26年11月29日(土)10:00~12:00

場所: 港区立新橋生涯学習センター

当シンポジウムへの参加ご希望の方は、氏名、所属を明記の上事務局へ

FAX: 03-3404-0734

メール: info.efsca@efsca.jp までご連絡ください。

3) 1日監査に関するパンフレット

情報と環境に関する1日監査のパンフレットがあります。御希望される機関はお申し付けください。

編集後記

当 NPO 法人では、3カ月に1回実施しているシンポジウムの内容を広く皆様に知ってもらうことを大きな目的に、年4回「ニュースレター」を発行しています。今月号は8月に実施したシンポジウム「野外における危険な生物」と題して佐々木隆馬氏ご講演いただきました。

今後とも、皆様方の声をもとに講演内容を考えて行きたいと思っております。講演内容につき、ご要望がある場合は、ぜひ下記ニュースレター事務局までお寄せください。その他のニュースレターに関してのご意見、ご要望も下記ニュースレター事務局までご連絡ください。

ニュースレター事務局: oka@cea.jp

特定非営利活動法人 地域と行政を支える技術フォーラム

TEL 03-3403-2325

〒106-0032 東京都港区六本木 3-14-9 妹尾ビル4階

理事長 原田 敬美